

平成24年度第4回宇都宮市河内自治会議録

1 日 時 平成24年7月24日（火） 午後2時00分～午後4時25分

2 場 所 河内地域自治センター 第1・2会議室

3 出席者

【委員】 杉原弘修委員（会長）、川上幸子委員（副会長）、太田達彦委員、加藤幸雄委員、
計16名 君島京子委員、駒田静雄委員、櫻井基一郎委員、渋井トミ子委員、清水恵美委員、
五月女京子委員、田村正男委員、中西幸子委員、中山光幸委員、真壁諦委員、
松谷宣子委員、吉田恵美子委員

【事務局】 河内地域自治センター所長、北部地区行政推進担当参事、地域自治制度担当副
計9名 参事、地域経営課長、他5名

4 会議の公開・非公開 公開

5 傍聴者数 なし

6 会議経過

(1) 開会

- ・本日の会議の出席者数は16名、石渡重道委員、磯川康男委員、伊藤昭博委員、高久剛一委員の4名が欠席。委員数の過半数に達しているので、会議が成立することを事務局から報告。

(2) 協議事項

①合併市町村基本計画の執行状況について

- ・答申書（案）への意見について

発言者	発言内容
会 長	前回の会議で、答申書（素案）について、皆さんから出た意見を基に私と副会長で協議し、文言等について整理を行い、事務局で答申書（案）としてまとめてもらった。事務局から説明をお願いする。
事務局	資料1の説明
会 長	答申書（案）について、意見や質問はあるか。
委 員	合併市町村基本計画のうち2つの事業が既に完了している。そのため、目次の項目では、諮問対象事業が10事業となっている。しかし、合併市町村基本計画が12事業あることを、1ページの「はじめに」に明記してはどうか。
会 長	委員から、「はじめに」の中に合併市町村基本計画が12事業であることを明記にしてはどうかという意見だが、そのように記載することによろしいか。
全委員	異議なし。
会 長	意見のとおり「はじめに」の部分を修正する。 他に意見や質問はあるか。
委 員	2ヶ月前に意見を募集し、その後まとめられていたが、20人の委員のうち何人から意見が出たのか。 答申書（案）の9ページ、(10)農道整備事業の【意見】の1行目から2行目にかけて「順調に進められております」とある。普通、工学的には「順調に」という表現を使用すると、「ダメだ」という指摘を受ける。「順調に」を定量的に表現するなら、「何年間で何%で順調だ」と表現しなくてはならないと思うが、いかがか。

事務局	多くの委員から意見が出された。その意見をまとめて、第2回の自治会議の資料として皆さんに配付した。 「順調に」という表現だが、委員から出された意見をそのまま採用している。
委員	以前から、意見はそのまま載せてほしいとお願いしている。形式的にはそのままだが、私が知りたいのは、基本的な考え方と個別論だ。これを2つに分けると、全体像が判りづらい。4回もそのまま出してほしいと言っても、出てこない。人数を明らかにすると支障があるということか。
事務局	最初の意見提出時に、出された委員、出されなかった委員がいたが、出された意見をまとめ、それを基に、会長と副会長でご協議いただき答申書（素案）としてまとめ、それを前回（第3回）の会議でご審議いただいた。 その審議の際にも、素案に対して異議を唱える意見が出なかったため、素案について同意を得たものと解釈して、本日、答申書（案）として提出し、ご審議をしていただいているものと事務局では理解している。
会長	皆さんのご意見をまとめ、答申書（案）を作成している。事務局が意見を作成しているわけではない。言葉にはニュアンスがあるが、その範囲でご理解いただきたい。よろしいか。
委員	了解した。
会長	他に意見はあるか。
全委員	(意見なし)
会長	最終的な答申書として完成させたいので、まとめ方については、私と副会長にご一任いただけるか。 また、出来上がった答申書は、市へ提出することになるが、私と副会長が代表して提出することによろしいか。
全委員	異議なし。
会長	答申書は、8月7日に市長に提出させていただく。また、皆さんには、後日、郵送させていただく。

②地域のまちづくりに関する施策の提案（テーマ「教育・文化・健全育成」）について
・実現方策の決定について

発言者	発言内容
会長	前回の会議で、『テーマ：教育・文化、健全育成』について、目標を達成するための実現方策を、グループごとにまとめ提出いただいた。 その後、まとめ方については、私にご一任いただいた。 私と副会長で協議し、文言等について整理し、事務局で資料にまとめてもらった。 今回は、その資料を基に協議を行い、実現方策を決定していきたいと思う。 事務局から説明をお願いします。
事務局	資料2の説明
会長	それでは、資料2について説明があったが、何か意見、質問等はあるか。
全委員	(質問なし)
会長	意見がないようなので、資料2のとおりの実現方策とする。

・実現プランの設定について

発言者	発言内容
会 長	それでは、協議事項『(2) ②実現プランの設定について』を議題とする。事務局から説明をお願いします。
事務局	資料3の説明
会 長	資料3について事務局から説明があったが、何か意見、質問等はあるか。
全委員	(質問なし)
会 長	このあと、実現プランについて、グループ協議を進めていただく。 提案に当たっての基本的な考え方は、昨年度の第7回自治会議で皆さんにお話ししたとおり、『地域が主体となってまちづくりを進めるうえで、自ら何ができるか』を意識しながらご協議いただきたい。なお、詳細については、参考資料3を用意したのでご覧いただきたい。 また併せて、姿川地区まちづくり協議会が作成した「地域ビジョンの概要版」を配付したので、これからの提案の参考としていただきたい。 資料3の説明について、意見、質問等はあるか。
全委員	(質問なし)
会 長	それでは、資料3の協議方法で進める。
委 員	河内地区は文化財が豊富だと聞いているが、河内地区の文化財の量的な比較を、他地区と比べて多いと言って良いのか。調査すべきであると思うが、データ等を持っている方がいれば、教えていただきたい。
会 長	文化財の量ということか。
委 員	文化財が多いということが、言えるのか。素朴な疑問である。
会 長	何を基準とするかにより、文化財の質と量が決まると思う。今の質問に対して、仮に答えられるとしても、検証できていないため判断できないと思う。
委 員	そこまで、厳格に求めている。例えば、上河内と比べて多いのか少ないのかの程度だ。
会 長	わかる方はいるか。
会 長	回答が出ないようなので、委員ご自身で調査されても結構、事務局でわかる範囲で調査していただき回答ということでも結構ということにしておきたい。ここでは、継続事項とし保留とする。よろしいか。
全委員	異議なし。
会 長	回答できるよう、可能な限り努力する。委員の皆さんにも、調査をお願いします。他に、何か質問等はあるか。
全委員	(質問なし)
会 長	実現プランについてグループ協議を進めていただき、各グループには、サポート役として事務局職員が入り、私も各グループを回るので、質問等があれば聞いていただきたい。 それでは、午後3時30分まで、グループ協議をお願いします。
実現プランを抽出するためのグループ協議を実施	
会 長	時間になったので、発表していただきたい。Aグループ、B・Cグループの順で発表をお願いします。
委 員	Aグループから発表する。

	<p>実現方策『文化財を多くの人に知ってもらう』の1番目としては、文化財としてどのようなものがあるかを知ってもらうため「文化財を案内するマップを作る」という意見。2番目としては、「文化財解説ボランティアによる定期的な見学会を行う」という意見が出た。</p> <p>実現方策『文化財をまちづくりに活かす』では、「文化財の一般公開日を決めて、その日に合わせて花火、屋台、フリーマーケットなどを開く」として、多くの人たちに来ていただくことを考えた。</p> <p>実現方策『文化財を守り伝える人材を育成する』の1番目としては、「文化財解説ボランティアを養成する」。そのためには、講師を発掘することが1番の問題。まちの中で埋もれている、知られていない知識人を発掘することが大切になる。2番目としては、「勉強会、講演会等を行って、文化財を理解し、専門知識を持つ人たちを育てる」こととした。</p> <p>実現方策『子どもから高齢者まで学べる場をつくる』では、「生涯学習センターに子どもの作品を展示する専門コーナーを設置する」。生涯学習センター内には大人の展示コーナーはあるが、子どもの作品を展示するコーナーはない。そのため、異世代間の作品を観てもらうことも大切だという意見が出た。</p> <p>実現方策『地域が主体となって学びの場をつくる』では、「各自治会で休耕田を利用し、その地域で自慢の出来る料理を作って、多くの人に来てもらい、自然の中で楽しんでもらう」という意見が出た。</p> <p>実現方策『高齢者の知識や経験を子どもたちに伝える』では、「学校へ的高齢者による出前講座を今以上に開催する」。現在も高齢者による出前講座を実施しているが、例えば、昔遊びとかを行えば、文化財が異世代に伝わるのではないか。是非、このような機会を多く作ることが必要だという意見が出た。</p>
委員	<p>B・Cグループから発表する。</p> <p>他の地域を見学して感じたが、地域をあげて文化財関連の資料を整理して、学校や家庭に配布している。近隣では、上河内町史があり、高根沢町でもりっぱなものが出来ている。先日、塩谷町の道の駅を訪れた際、町のお祭りや景色をTVRで何度も放映していた。河内地区は、これからだと希望を持った。</p> <p>実現方策『文化財を多くの人に知ってもらう』の1番目としては、「文化財をリストアップし、マップを作成する」。2番目としては、「小中学校や高齢者に対して、繰り返し歴史・文化の教育を行う」。夏休みや冬休み、敬老の日などに行う。歴史・文化を地域住民に知ってもらう。これが郷土愛につながると思う。</p> <p>3番目としては、「歴史資料センターを開設する」。上河内では、春にお雛様の展示イベントを実施している。河内では、自治センターと生涯学習センターの統合に際して、併せて歴史資料センターを開設してほしい。</p> <p>地域をあげてお祭りを実施し、みんなで楽しむことにより、まちづくりにつながるし、近隣に在住する方が来てくれるのではないか。PRが不足しており、1つの地域内でのPRで終わってしまっている。そのため、実現方策『文化財をまちづくりに活かす』についての1番目としては、「お祭り広場を作って地域起こしにつなげる」。歴史・文化が豊富にあるにも係わらず、あまり知られていないので、この機会に、リストアップし整理して、文書化して作成していかなければならない。2番目としては、「白沢宿に観光・レジャーの拠点を作る」とした。3番目としては、「文化財見学コースに特産販売所を設ける」。休憩所も</p>

	<p>併設し、観光コースとしてクローズアップさせ、まちおこし、まちづくりになるのではないかと考えた。</p> <p>実現方策『文化財を守り伝える人材を育成する』の1番目としては、「文化財の継承者を選抜し任命する」。特別に協力を得るための制度を作る。2番目としては、「文化財の維持管理、指導者名簿を作成し、支援する」。地区内で指導者を支援する体制作りが必要。3番目としては、「小中学生に文化財に触れさせる」。これら指導者自らが小中学校に出向き、歴史・自然環境と文化を指導する。また、自然を散策することで、実態を体験させることも必要ではないか。</p> <p>実現方策『子どもから高齢者まで学べる場をつくる』では、1番目として「異世代交流の機会を設ける」。Aグループから現状把握の際に出されたものである。2番目としての「親子が楽しめるアドベンチャー施設をつくる」では、子どもの教育にとって、懐かしい思い出こそが、郷土愛につながってくる。川遊びや土いじりなどが、将来の郷土愛につながっていく。親子が楽しめるアドベンチャー施設をつくることも、自然環境を活かして、河内が持っている財産を活かしていけないのではないか。3番目の「生涯学習センターを活用する」では、さまざまなカリキュラムで生涯学習センターを活用し、知識・交流を高めようとするもの。</p> <p>実現方策『地域が主体となって学びの場をつくる』の1番目としては、「自然環境を活かした学びの場をつくる」。自然の資源を活用し、自然と遊び、自然に対する恩恵を身につけるためのチャンスを作る。そのための制度や施策についてのアイデアをここで作らなくてはならないと思う。2番目の「産官学が連携して小中学生に働く意義を学ばせる」では、今後、子どもたちが、地元で根付くためには、どのような経験をしたら良いのかを体験することが必要。小中学校のうち、産官学を通して仕事の経験、職場の見学、農業の体験を経験させることが必要。地域が主体となる産官学と位置づけた。3番目としての「学校の地域コーディネーターの活動を推進する」では、現在も地域コーディネーターが活動しているが、任せきりにするのではなく、どのようなプランを立てて、どのような取り組みをしたら良いのかなどに係わっていく。また、その支援をしなければならないと思う。</p> <p>最後の実現方策『高齢者の知識や経験を子どもたちに伝える』については、1番目として「高齢者が進んであいさつ運動を展開する」。既に子どもたちは、行き会おうと必ずあいさつをしている。高齢者は、子どもたちからあいさつを受けてからあいさつを返している状況。高齢者も顔を合わせたら、全員があいさつできるような雰囲気づくりをしていきたい。2番目としては、「高齢者の人材をリストアップし、リーダーを養成する」。人生経験を小中学校で徳育として行う。特に道徳や偉人伝などの友情に係わる事柄について教示する。人生経験を具体的に話すならば、子どもたちも、いじめのない、思いやりのある感情が育つのではないか。</p>
会 長	今の発表に意見、質問等はあるか。
全委員	(質問なし)
会 長	次回会議で、残りの実現方策No.7からNo.12までに対する実現プランについてグループ協議を行い、その後、実現プランについてまとめていきたい。他に意見、質問等はあるか。

全委員	(質問なし)
-----	--------

(3) その他

① 次回の開催日程について

- ・平成24年9月5日(水)午後2時開催予定

② その他

- ・河内地区まちづくり懇談会のお知らせ

(4) 閉会